

一人ひとりの個性が
尊重されるまちを
めざして…
みんなですすめよう!
はごろもぷらん

うない いきー

女男ゆんたくひろば 100

NWEC (ヌエック) フォーラム参加報告

平成24年8月24日から3日間、埼玉県にある国立女性教育会館にて「男女共同参画のための研究と実践の交流推進(NWEC)フォーラム」が開催されました。“研究”“学習”“実践”を結び、女性のエンパワーメント(力をつけること)を目指す交流の場として開催された同フォーラムでは、全国から集まった55件のワークショップが行なわれ、本市から参加費用の一部補助を受け、3名の市民が参加しました。今回は各参加者の報告から、研修の様子をお伝えします。また、来年2月には他の研修も含めた研修報告会を予定しています。詳細については事務局までお問い合わせください。

私たちのワーク・ライフ・バランス 前田 美恵子

昨今、ワーク・ライフ・バランスが推進されていますが、私たちの周りはどういう状況でしょうか?即興劇の手法である「プレイバックシアター」では、参加者からの声を聞き、劇を行い、心の思いを表現してくれました。ワーク・ライフ・バランスの実現は、自分自身で解決していかなければ始まらないのだと思いました。それぞれのライフ・ワーク・バランス・ストーリーを目で耳で肌で感じてまいりました。



参加者交流会にて
(左から、波平さん、教育会館館長、前田さん)



研修会場にて記念撮影
(左から、前田さん、波平さん、譜久原さん)

ヌエックフォーラムに参加して 波平 道子

初日、主催者の開会挨拶のあと、「女性の活躍による新たな社会の創出に向けて」をテーマに3人のシンポジストによる素晴らしい活動、体験などの講話がありました。それぞれの分野で個人のワーク・ライフ・バランスを唱えながら女性のエンパワーメント、社会に参画して輝いている女性を見てわくわくしました。そのほか、小学校からデートDV予防教育の必要性が紹介され、私たち子どもや孫のために考えていくべきだと思いました。

震災の教訓を活かしたまちづくり 譜久原 真理子

今回の研修では、全体的に震災から起こった様々な課題から、女性がどれだけ犠牲になっているかの研修が多く、福島の方のお話を聞いたり、読み語りの朗読を聞いたりして沖縄でも出来ることは何か、小学校教員として子供たちに伝えるべきことは何かと考えながら研修を受けました。

研修会場では、手作りの小物等を販売し、それを被災地の復興支援にあてたり、東京等都会の子どもたちとの交流を通して現状を知ってもらうなど、様々な取り組みを行っているようでした。

今回の研修を通して、震災の教訓を活かした町づくり、人材育成、教育が重要だと思いました。



「お互いに 未来を掴もう 共同参画」 問合せ：企画政策課男女共同参画係 ☎893-4411 (内線421)

めぶき情報

104

☆めぶき講座(第8回)

女性を取り巻く労働環境やライフスタイル、地域活動等を男性はどう見ているのでしょうか。また、「男とはこうあるべき」という固定化したイメージに苦しんでいる男性自身も少なくありません。

今回は、沖縄と海外の状況に詳しく多方面で研究活動をしている講師をお招きし、グローバルな視点からお話していただきます。

性別による固定観念に捉われず、一人ひとりが自分らしくあるために、男女とも家庭や仕事、地域ではどのようにするべきなのかについての多くの気づきが得られること間違いなしです。

「男性からみた男女共同参画」

〜もっと自分らしくあるために〜

講師 新垣 誠 氏

(沖縄キリスト教学院大学准教授)

日時 1月29日(火)午後7時〜9時

場所 めぶき研修室2

対象 市内在住・在勤・在学の方

受講料 無料

☆受講ご希望の方は事前にお申込み下さい。

(一時保育をご希望の方は予約が必要です。

一週間前迄にご連絡下さい。)

問合せ

宜野湾市志真志一丁目15-22
人材育成交流センター めぶき

☎896-1215